

学校友だち

芥川龍之介

青空文庫

これは学校友だちのことと言ふも、学校友だちの全部のことにあらず。只冬夜電燈とうやのもとに原稿紙に向へる時、ふと心に浮かびたる学校友だちのことばかりなり。

かうたきたかし

上滝 嵬　これは、小学以来の友だちなり。嵬くわいはタカシと訓

ず。細君の名は秋菜あきな。秦豊吉はたとよきち、この夫婦を南画的夫婦と言ふ。

東京の医科大学を出、今は厦門アモイの何なんとか病院に在り。人生観上の

リアリストなれども、実生活に処する時には必しもさほどリアリかならず

ストにあらず。西洋の小説にある医者に似たり。子供の名を※とみのと

言ふ。上滝かうたきのお父さんの命名なりと言へば、一風いつふう変りたる名

を好むは遺傳的趣味の一つなるべし。書は中々巧たくみなり。歌も句

も素人並みに作る。「新内に下見おろせば燈籠かな」の作あり。

野口真造のぐちしんざう これも小学以来の友だちなり。呉服屋大彦だいひこの若わかだんな

旦那。但し余り若旦那らしくならず。品行方正にして学問好きなり。自宅の門を出る時にも、何か出かたの気に入らざる時にはもう一度家へ引返し、更に出直でなほすと言ふ位なれば、神経質なること想おもふべし。小学時代に僕と冒険小説を作る。僕よりもうまかりしかも知れず。

にしかはえいじらう

西川英次郎

中学以来の友だちなり。僕も勿論秀才なれども

西川の秀才は僕の比にあらず。東京の農科大学を出いで、今は鳥取とっとりの農林学校に在り。諱名あだなはライオン、或はライ公と言ふ。容貌ようぼう、

栄養不良のライオンに似たるが故なり。中学時代には一しよに英語を勉強し、「れふじん獵人日記」、サツフオ「サツフオ」、ロスメルスホルム「ロスメルスホルム」、タイイス「タイイス」の英訳などを読みしを記憶す。その外ほか柔道、水泳等とうも西川と共に稽古けいこしたり。震災の少し前に西洋より帰り、はくらい舶来の書を悉焼きたりと言ふ。リアリストと言ふよりもおのづからセンチメンタリズムを脱せるならん。この間鳥あひだをつとり取の柿かきを貰ふ。お礼にバトラアの本をやる約束をしてまだ送らず。尤も柿もつとの三分の一は渋柿なり。

なかはらやすたらう

あだな たぬき 中原安太郎 これも中学以来の友だちなり。譚名は狸たぬき、され

ども顔は狸に似ず。性格にも狸と言ふ所なし。西川に伯仲はくちゆうする秀才なれども、世故せこには西川よりも通ぜるかも知れず。菊池寛きくちくわん

の作品の——殊に「父帰る」の愛読者。東京の法科大学を出、三
つるぶつさん井物産はりに入り、今は独立の商売人なり。実生活上にも適度のり
 アリズムを加へたる人道主義者。おほがねまうけ大金儲したるしたる時には僕に別
 荘を買つてくれる約束なれど、未だいまに買つてくれぬ所を見れば、
 大した収入もなきものと知るべし。

やまもとときよし山本喜誉司

これも中学以来の友だちなり。同時に又姻いんせき戚の

ひとり一人なり。

東京の農科大学を出、今は北京ペキンの三菱みつびしに在り。重大

ならざる恋愛上のセンチメンタリスト。鈴木三重吉すずきみへきち、久保田万

たらう太郎

の愛読者なれども、近頃は余り読まざるべし。風采瀟洒せうしやた

るにも関かかはらず、存外ぞんぐわい喧嘩けんくわには負けぬ所あり。支那わたに棉わたか何

か植ゑてゐるよし。

つねとうきやう
恒藤恭

これは高等学校以来の友だちなり。旧姓は井川。
あがは

冷静なる感情家と言ふものあらば、恒藤は正にその一人なり。京
都の法科大学を出、いで其処の助教教授か何かになり、今はパリに留学
中。僕の議論好きになりたるは全然この辛しんらつ辣なる論理的天才の
薰陶くんたうによる。句も作り、歌も作り、小説も作り、詩も作り、画ゑ
も作る才人なり。尤も今はそんなことは知らぬ顔をしてゐるのに
相違なし。僕は大学に在学中、雲州うんしゅう松江の恒藤つねとうの家うちにひと夏
居候ゐさくらひになりしことあり。その頃恒藤に煽動せんどうせられ、松江紀
行一篇を作り、松陽しょうやう新報と言ふ新聞に寄す。僕の恬然てんぜんと本
名を署して文章を公おほやけにせる最初なり。細君の名は雅子まさこ、君子くんしの好か
述うきやうと称するは斯かかる細君のことなるべし。

はたとよきち
秦豊吉

これも高等学校以来の友だちなり。

まつもとかうしろう
松本幸四郎

甥^{をひ}。東京の法科大学を出^{いで}、今はベルリンの三^{みつ}菱^{びし}に在り、善良な

都会的才人。あらゆる僕の友人中、最も女に惚^ほれられるが如し。

尤^{もつと}も女に惚^ほれられても、大した損はする男にあらず。永井荷風^{ながゐかふう}、

ゴングウル、歌麿等^{うたまろら}の信者なりしが、この頃はトルストイなど

を担^{かつ}ぎ出すことあり。僕にアストラカンの帽子を呉れる約束あれ

ども、未^{いま}だに何も送つて呉れず。文を行^やるに自由なることは文壇

の士にも稀なるべし。「ストリントベリーの最後の恋」は二三日

に訳了せりと言ふ。

ふぢをかざうろく
藤岡蔵六

これも高等学校以来の友だちなり。東京の文科

大学を出^{いで}、今は法政大学か何かに在り。僕の友だちも多けれども、

藤岡位損をした男はまづ外ほかにあらざるべし。藤岡の常に損をするは藤岡の悪き訣わけにあらず。只藤岡の理想主義者たる為なり。それも藤岡の祖父に当る人は川ばたに蹲うづくまれる乞食こじきを見、さぞ寒からうと思ひし余り、自分も襦じゆ袢ばん一枚になりて嚴冬の縁側に坐り込みし為、とうとう風を引いて死にたりと言へば、先祖代々猛烈なる理想主義者と心得こころうべし。この理想主義を理解せざる世間は藤岡を目もくして辣腕家らつわんかと做なす。滑稽こつけいを通り越して氣の毒なり。天下の人は何と言ふとも、藤岡は断じて辣腕家らつわんかにあらず。欺だまかし易く、欺かされ易き正直いちじつ一図の学者なり。僕の言を疑ふものは、試みにかう考へて見るべし。——芥川龍之介は才人なり。藤岡蔵六は芥川龍之介の旧友なり、その旧友に十五年来欺されてゐる才

人ありや否や。いな（藤岡蔵六の先輩知己は大抵哲学者や何かなるべければ、三段論法を用ふること斯くの如し。）

その他菊池寛きくちくわん、久米正雄くめまさお、山本有三やまもと いうざう、岡栄一郎をかえいいちらう、成瀬正一なるせしやういち、松岡譲まつをかゆづる、江口渙等えぐちくわんも学校友だちなり。然れど

も是等の友だちのことは既に一度以上書いてあるか、少くとも諸公百年の後には何か書かせられる間あひだから故、此処には書かざることとすべし。只次手に書き加へたきは忘れ難き亡友のことなり。

おおしまとしを大島敏夫 これは小学時代の友だちなり。僕も小学時代には

頭の大きいなる少年なりしも、大島の頭の大きいなるには一歩も二歩も遜りしを記憶す。園芸を好み、文芸をも好みしが、二十にもなはたちらざるうちに腸結核ちやうけつかくに罹りて死せり。何処か老成の風ありし

も夭折えうせつする前兆もつとなりしが如し。尤も僕は氣の毒にも度たびたび大島を泣かせては、泣虫泣虫とからかひしものなり。

平塚逸郎ひらつかいちろう

これは中学時代の友だちなり。屢僕しばしばと見違へられしと言へば、長面瘦軀そうくなることは明らかなるべし。ロマンティックなる秀才なりしが、岡山の高等学校へはひりし後、腎臟のちじんざうけつ結核かくに罹かかりて死せり。平塚の父は画家なりしよし、その最後の

作とか言ふ大幅たいふくの地藏尊を見しことあり。病と共に失恋もし、千葉ちばの大原おほはらの病院にたつた一人絶命せし故、最も氣の毒なる友

だちなるべし。一時中学の書記となり、自炊生活を営みし時、

「夕月ゆふつきに鱒買あぢちふ書記の細さかな」と自ら病軀びやうくを嘲あざけりしことあり。

失恋せる相手も見しことあれども、今は如何いかになりしや知ら

ず。

(大正十四年一月)

青空文庫情報

底本：「筑摩全集類聚 芥川龍之介全集第四卷」筑摩書房

1971（昭和46）年6月5日初版第1刷発行

1979（昭和54）年4月10日初版第11刷発行

入力：土屋隆

校正：松永正敏

2007年6月26日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.waozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたった

のは、ボランティアの皆さんです。

学校友だち

芥川龍之介

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>